

2026

1月

患者サポート通信

—ささえちゃん便り—



第 141 号



～認定・専門看護師紹介～

急性・重症患者看護 専門看護師
集中治療室 主任看護技師 井上 貴晃



みなさん、『専門看護師』とはどんな役割を担う看護師か、ご存知でしょうか？
専門看護師とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して
水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を
深めた看護師とされています。主に、実践、調整、倫理調整、相談、教育、研究の
6つの役割が求められています。その中でも、急性・重症患者看護専門看護師は、
クリティカルケア領域を中心に活動する専門看護師で、県内では私を含め、2名が資格を有しています。



実際に、私は主に自部署を含む院内全体の臨床倫理教育に力を入れています。
臨床倫理とは何かという基本的なレクチャーから、自部署の複雑かつ切迫性を
要する患者さんの治療方針に関わる倫理調整、他部署の倫理カンファレンスま
で、様々な取り組みを行っています。

倫理の四分割表を ICU の特性をふまえた形で修正して
導入し、多職種カンファレンスを開催するシステムを
ICU スタッフと共に構築していった結果、
年間80件以上の多職種倫理カンファレンスの実施に
至っています。積極的に私を含む専門看護師を
倫理教育のリソースとして、活用いただければと思います。



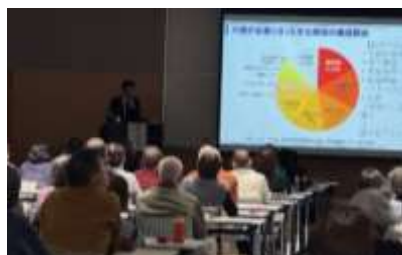
加えて、私たち専門看護師は、研究にも精通しており、エビデンスに基づいた実践や理論活用をした看護
実践を得意としています。特に私は、危機理論、家族看護に関する理論、『安楽さ』を提供するた
めの Comfort 理論などの看護理論を用いて、日々患者さん・ご家族への直接的・間接的な実践を行っ
ています。また、複雑な健康問題を有する患者さん(人工呼吸器が中々離脱できない、痛覚過敏により術後
鎮痛管理が難しい)や、急激な健康破綻をきたした家族への心理面へのアプローチも得意としており、
最新のエビデンスについての知識をアップデートしながら取り組んでいます。研究と臨床の架け橋になる
ことも専門看護師の重要な役割なので、もし、「こういうエビデンスが知りたい…」「この患者さんにこの
エビデンスは適応できるのだろうか?」「文献検索や実践報告・研究をしたいけどやり方がわからない」
という方がいらっしゃれば、ぜひご相談ください。一緒に取り組んでいきましょう！



【開催報告①】 12/14（日）第13回福島県脳卒中市民公開講座

去る12月14日、福島医大駅前キャンパスにおいて、福島医大附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターと日本脳卒中協会県支部の共催による脳卒中市民公開講座が開催されました。

当日は、腎臓高血圧内科学講座教授 風間順一郎先生、脳神経外科学講座講師 眞野唯先生に脳卒中の予防と早期診断・治療を目指して、患者さんができること、家族ができることをポイントとしてわかりやすく講演いただきました。100名を超える参加をいただき、当日は、参加者からも多くの質問を受けるなど、県民の関心の高さを伺うことができました。



脳卒中・心臓病等総合支援センターでは
今後も様々な情報を
発信してまいります



【開催報告②】 12/21（日）ふくしま健康ハート&ブレインフォーラム 2025

翌週12月21日(日)には、福島医大駅前キャンパスにおいて、福島医大附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センター主催のフォーラムが開催されました。

循環器内科学講座の先生方からの心血管病についての講演、保健科学部理学療法学科の先生方による心血管病予防のための運動を実演付きで紹介、その他心血管健康度チェック・減塩コーナーなどを通して、「学んで、体験し、そして実践」することによって心血管病予防の理解を深める良い機会になったことと思います。

約200名の参加者の皆様にとって、日常生活で活かせる健康作りのヒントになれば幸いです。



編集後記

この度、患者サポートセンターのホームページがリニューアルしました！

(なかなか調整に苦労しましたが...)スタッフ集合写真も掲載しています！
よろしければ、下記へアクセスをおねがいいたします。是非、ささえちゃんをクリックしてみてください。私たちは「顔の見える連携」をモットーに、
このメンバーで今年も頑張ります。

文責：鈴木

福島医大 患者サポートセンター



今年もよろしく
お願いします



【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1818(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp